

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	離職者が多く、人材が育っていない	安定した人材の育成と離職率の低下	魅力ある職場作り、社内外の研修参加の支援によるスキルアップと働きやすい人間関係を作る	12ヶ月
2	38	個々の生活リズムより業務が優先の場面がある	残有能力を生かした生活リズムの創出	生活全般に入居者の残有能力を生かした場面での共同作業をおこない、一方的でない生活のリズムを作る。	12ヶ月
3	40	食事を楽しむことの出来る支援	行事や季節を意識した食事の提供	季節感を取り入れた食事の提供で認知症の中核症状である見当識障害を補い、季節感を感じる楽しい時間を過ごしていただく。	12ヶ月
4	49	外出の機会が少ない	入居者、家族の外出機会を増やし、家族との外出を楽しみ、支援することができる。	遠足やお花見などの機会を増やし季節を楽しむ。外出に家族をお誘いし、家族の思い出作りも支援する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。